

小花が咲いた傘の持ち手カバー

* - *



■使用糸…エミーグランデ

■使用針…かぎ針 2号

■使用量…7g

■サイズ…

直径約 2cm×長さ約 18cm

* - *

■ 編み方

※ 中心のお花部分では、細編みの手前1本・向こう側1本を拾って編みます。

下の画像を見て、どこを拾うか確認してください。



細編みの頭の2本のうち…

手前側1本は「赤で囲っている目」、向こう側1本は畝編みのことで「青で囲っている目」になります。

① わの作り目を、細編み5目編みいれます。

② 2段目は、前段細編みの手前側1本だけを拾って、お花の花びらを編みます。

花びらは、「鎖編み2目編み、長編み3目の玉編み、鎖編み2目編んで、玉編みを編んだのと同じところに引き抜き編み」→「鎖編み2目編み、隣の目に長編み3目の玉編み、鎖編み2目編んで、今玉編みを編んだのと同じところに引き抜き編み」…と繰り返します。

③ 2段目の花びらが編み終わったところで、編地をひっくり返して裏を見てみると、1段目の細編みの拾わなかった1本（向こう側1本）が筋のように残っていると思います。



青で囲った、残っている1本を拾って細編み2目ずつ、1周10目編みます。



④ 4段目は、2段目で編んだ花びらと同じように、3段目の細編みの手前側1本を拾って花びらを10枚編みます。



⑤ 5段目は、3段目の残っている1本（向こう側1本）を拾って、細編みを2目ずつ、1周20目編みます。



⑥ 5段目の細編み20目から、長編み2目の玉編みで方眼編みを10模様編んでいきます。
ここからは、表を見ながらグルグルと編んでいき29段編めたら、最後に細編みを1段編んで糸を切って完成です。

方眼編みが少し伸縮しますので、少しきつめに編むと、使っているうちにずれてくるということなく使えると思います。

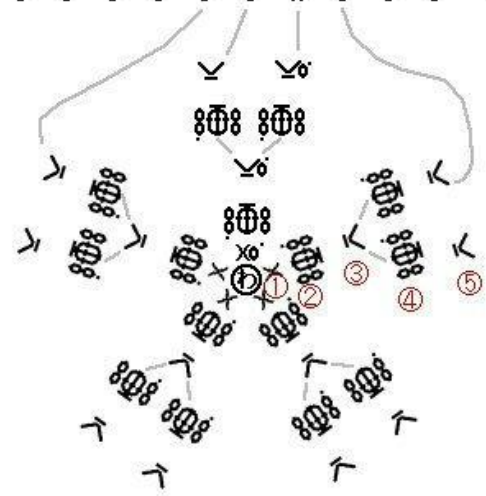
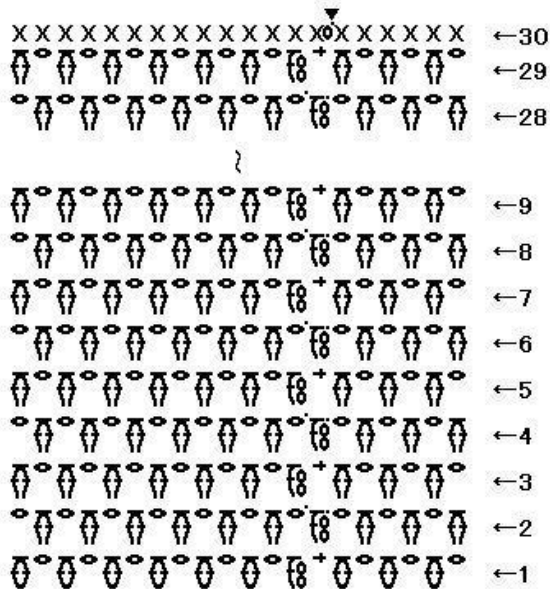
サイズを合わせる際、この編み図で編んで小さくなりすぎる場合は、かぎ針の号数を1つ上げるか、最初の細編みを5目→6目に変えて編んでみてください。この場合、5段目の細編みは24目になります。

また、大きくなりすぎる場合は、かぎ針をレース針に変えるか、5段目の細編み全てから2目ずつ拾うのではなく、数か所で1目から1目拾って、1周の目数を少なくします。

玉編み方眼は2目一模様ですので、花びらの5段目の細編みの目数が偶数になるよう調節してください。

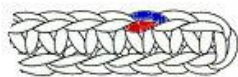
また、段数は特に指定はありませんので、傘の持ち手のサイズに合わせてながら編んでいただけたらと思います。

※ 編み図は次のページにあります。



⊗ = 鎖編み2目で立ち上がり、前段の細編みの手前側1本を拾って長編み3目の玉編みを編む。
鎖編み2目編み、玉編みを編んだのと同じところに引き抜き編みを編む。

⊕ = 長編み2目の玉編み



手前側1本 = 細編み2本あるうちの
赤で塗りつぶした1本だけを拾う

向こう側1本 = 畝編み
細編み2本あるうちの
青で塗りつぶした1本だけを拾う